

P8310801.JPG 2019/04/14

明治元年十一月六日より明治元年十一月十四日まで

P8310801right

程ヶ谷(大なべ屋)午休戸塚泊大鍋屋

七日辰 晴

藤沢午休平塚なべ屋泊

八日巳 晴

梅沢村午休、小田原福全泊

九日午 濃陰夕晴

箱根本陣川田角右衛門)午休酒肴の享(\*)あり謝銀遣す三島山形屋泊、山越の賀銀栄蔵へ遣す

十日未 晴

原午休吉原泊、岩淵にては本陣斉藤億方へ引入れ栗粉糕、栗粉等贈らる謝銀遣す

(沼津にて御用人支配調所へ通行届有し、送り書付受取)

P8310801left)

十一日申 陰漸晴

由井午休、江尻泊の処、同宿留□の趣に付興津へ泊る

十二日酉 晴

(府中着)午第十二時過、府中宿河原町藤屋(姓は多々頼)藤右衛門方山本旅宿にて右方へ着、相旅宿亀井

某(山本同役にて移住掛り也)周旋により(調所願)光院へ)着御届等同人手にて取計呉、旅宿住居向

□□にて山梨佐周旋を以

別に二間仮受山本と分れ富沢と合宿す、旅亭より午飯酒肴等□役有し、本夕より賄方(老人六泉半)を命

す、着賀残栄蔵へ遣す、同人より人馬払方関勘書差出す

十三日戌 雨終日

十四日亥 雨終日

\*「享(きょう)、もてなしを受ける

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。